



6月5日 1988・号外

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館 3F 電話 552-1855

発行人 大竹次郎

京橋支部事務局へファクシミリ導入！

FAX 297—3790 へどうぞ

5月26日よりファクシミリが設置されました。
組合員各位、事務局間のメッセージを必要に応じて電送して頂くことになりました。ひろく御活用下さい。

4月22日の通常総会におきまして組合員各位のご推举により支部長に就任致しました。私自身、その器でないことは十分承知しております。幸いにも各地区より、副支部長、監査の皆さんのご推薦を戴き厚く御礼申し上げます。本部に小宮山・田畠両副理事長、長島・小薬両常務理事を選出しております当支部としましては、本部事業の運用につきましては、太いパイプの基に施行致していく所存です。また支部運営につきましても、総会でご決議いただきました事業計画に基いて運営し、少しでも組合員各位の利に役立ち度く存じて居ります。昨今の京橋の印刷産業を取り巻く環境は大変化の激しい時代になり、土地工場公害等の諸規制は、益々厳しく多くの課題に直面しなくてはならなくなりました。

東京における印刷産業発祥の地京橋も明治以来、地場産業として多くの先輩が育ててこられ、日本の業界のバイオニアとしてのこの地域も、時代の流れと申しましようか、今後印刷産業としての適合地かどうか考えねばならない時になりました。既にご承知のことと存じますが、組合員も過去2年間に約20数社の脱退を見ました。他地区への移転、転・廃業等、各社の事情はあると存じますが、支部運営上厳しいものがあります。このような時、今年度工団連五代目会長に当支部の信濃印刷(株)社長 児玉正巳氏が就任致しました。工団連を通して行政官庁との絆も一層強くなることと存じます。ご活躍をお願い致します。また次代を担う京青会会長には(株)文海堂 松岡誠一郎氏の就任を見ました。今後2年間、任期中、組合員各位の一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

就任のご挨拶

支部長 大竹 次郎



東印工組京橋支部通常総会開催—大竹新支部長を選出

4月22日(金)、区立中央会館7階にて、京橋支部通常総会が開催され、新支部長に大竹次郎氏の選出が承認されました。総会は定刻6時過ぎ、来賓に本部の新村理事長をお迎えして、荒川副支部長の司会で開会され、佐藤副支部長の開会のことばに続き、小山支部長が「今日で退任することになりましたが、この二年間、支部運営に絶大なる御協力を頂いたことに心から感謝申し上げます。新執行部に対しても変らぬご支援をお願いします。」と挨拶して議事に移り、中山英男氏が議長に、近藤正弥氏を書記に選出しました後、第1号議案 昭和62年度事業報告が大竹副支部長、第2号議案 昭和62年度収支決算報告が白橋副支部長、同監査報告は田島監査、第3号議案 昭和63年度事業計画(案)を大竹副支部長、第4号議案 昭和63年度収支予算(案)が白橋副支部長により、それぞれ説明が行われた後、満場一致にて拍手の中に承認された。

続いて第5号議案の次期役員選出について石澤推薦委員長から経過報告が行われた後、大竹新支部長の新支部長選出が満場一致の拍手の中に承認されて議事を終了した。そして新しく執行部に選ばれた新役員の紹介が行われた後、大竹支部長が代表して挨拶を行い、次のように述べた。「京橋支部は今期から本部へ4人の執行部

役員を送り出しており、本部と支部のパイプは一層強くなつた。支部においては組合員の減少が続いているが、組合員のプラスになる情報を提供していくことで、入りたい組合にしていくことが組合増強につながると考える。京橋の地場産業として、どう生きてゆくか、我々はこの30年間、競争することで生きて来たが、これからは和の時代になって来た。」と決意のほどを明らかにしました。これで議事は終了し中山議長、近藤書記が降りた後、来賓挨拶で東印工組の新村理事長が「京橋支部から小宮山、田畠両副理事長の2名が登用した点を、異例とみられるが、あくまで執行部の強化であると述べ、印刷産構審ビジョンについて、印刷業は2000年には15兆円の一大産業になると言われているが、印刷物の消長や、ハードからソフトへの転換を求められ、未知への対応は厳しい。業界としては第3次構改を実施して生き抜く」と抱負を述べられた。続いて中央区役所区長代理の石田公威助役の挨拶があり、そのあと来賓の紹介が行われた。最後に児玉副支部長が閉会の言葉を述べた。「昨年に続いて、また間接税が問題となつてきただ。印刷組合として業界の不振につながるものには絶対反対してもらいたい」と業界の結束を訴えて閉会のことばで、同7時前に総会は終了し

た。引続いて、懇親会が行われて、まず小山前支部長から、大竹新支部長へバトンが渡された。大竹新支部長により新役員が紹介された後、中央区工団連の宝田会長が、今秋開催される中央区工業文化展の開催への協力を願いられた。そして乾杯の挨拶で小宮山副理事長が登壇、田畠副理事長、小薬・長島常務理事と共に、これらの本部行政へのご協力を願いしますと述べて乾杯の音頭をとり、皆さん唱和をして、祝杯で喉をうるおしました。懇親会は支部員来賓、報道、青年会員を含めて、丁度100名が参加1月の新年会に統いて同じ中央会館での開催となり、皆さん近くなので気軽に参加されて久しぶりの会話を楽しんでおられました。（岩本）

支部新役員紹介

(敬称略)

支部の動き

4月4日 支部会計監査 於：(株)白橋印刷所、
小山支部長 白橋副支部長、柴田監査、田
島監査、岩本書記出席、伝票、帳票検査

4月5日 本部臨時総代会 於：霞ヶ関ビル、
小山支部長他理事出席

4月21日 中央区新卒従業員歓迎会 於：中央
会館、小山支部長出席

4月22日 京橋支部昭和63年通常総会 於：中
央会館、支部員他約100名出席（本文参照）

4月25日 京橋支部印刷青年会定時総会 於：
：築地スエヒロ、小山前支部長他出席

4月26日 新川地区総会 於：三菱ダイヤビル
5月11日 新旧支部執行部引継ぎ打合せ 於：
支部室、新旧支部長、監査出席

5月13日 新旧会計担当引継ぎ 於：支部室

5月16日 中央区公団連常任理事会 於：中央
区役所、役員出席

5月17日 入船地区懇親会 於：キヤピタル

5月19日 部長・監査・地区長会於・支部室

1、支部新役員の任務分担について
。総務—荒木副支部長・長田副支部長・中

山副支部長・増田副支部長・村上
副支部長

。会計瀬戸副支部長

。監査—小林恒夫監査、小林一夫監査

2、本部委員会担当委員の推薦
。構造改善推進委員会—松川昭義地区長

。貢物印刷委員会—神沢正通地区長

。商業印刷委員会—小林恒夫監査

。事務用印刷委員会—村上繁夫副支部長

。小企業振興委員会—増田副支部長

。資材委員会—荒木副支部長

。労務環境委員会—瀬戸副支部長

。大谷家清氏

。教育委員会—長田副支部長

。荒木副支部長

。厚生委員会—小林一夫監査

。組織委員会—斎藤収夫地区長

3、中央区工団連常任理事・理事長推薦
。常任理事—児玉正己氏・石曾根啓悦氏・
小葉忠昭氏・小山英美氏・大竹次郎氏・
荒木徹氏・瀬戸恭平氏・長田光夫氏・中
山英男氏・増田勝彦氏の10名

。理事—村上繁夫氏・小林一夫氏・小林恒
夫氏・小宮山貴史氏・本間義夫氏・春原
祉会館

英夫氏・斎藤收夫氏・松川昭義氏・神沢
正通氏・石井泰明氏の10名

4、中央区工業文化展実行委員の推薦
。実行委員—大竹支部長・荒木副支部長
増田副支部長の3名

5、本部理事の推薦(支部割当8名)
。本部理事—久保田幸一郎氏・石曾根啓悦
氏・小葉忠昭氏・小山英美氏・長島一磨
氏・大竹次郎氏・長田光夫氏・村上繁夫
氏

6、支部相談役・参与の推薦
。小山英美氏・榎本栄七郎氏・加瀬文吉
氏・小倉武治氏の4名を相談役に推薦

7、支部報「京橋の印刷」の発行
6月に号外を出す。以下各地区担当、63

／8—新川地区、63／12—京橋・銀座地
区、64／4—新富・入船地区、64／8—
湊地区、64／12—築地・月島地区、65／

3—八丁堀地区の予定で分担して作る

8、支部事務局にファクシミリ、ワープロ機
を導入し、事務連絡の徹底を図る

5月21日 製本組合京橋支部総会於・箱根湯
本・富士屋ホテル

5月24日 本部総代会於・霞ヶ関ビル

5月24日 中央厚生事業協組総会於・勤労福
祉会館

5月25日 中央区工団連常任理事会総会於・
中央会館

5月26日 築地地区会於・天六

5月30日 中央区地域整備委員会於・中央区
役所、小山委員出席

支部員の異動

加入組合員

。安信印刷工業株(月島地区)石井精二郎殿
転入組合員

。上二ビジネスフォーム株(湊地区、湊3—3
—2、前田セントラルビル4階)北原敏郎殿

脱退組合員

。目崎印刷株(新川地区)目崎正勝殿

所在地移転

。株蓬萊屋印刷所は入船3—6—10に移転しま
した。電話は不変。

。目崎印刷株(新川地区)目崎正勝殿

。株蓬萊屋印刷所は入船3—6—10に移転しま
した。電話は不変。

慶事

。有興進社印刷所(銀座地区)小張和夫殿長女
御結婚(3月)

。有誠堂森山印刷所(銀座地区)森山哲雄殿
長女御結婚(4月)

編集後記

五月の鯉の何とやら、四月・五月は、業界関
係の組合等で退任・新任される役員人事で多忙
な月でした。支部報も新企画で刊行される事に
なり、今回は、号外として新執行部のスタッフ
のご紹介をしました。よろしく

(大竹)